

研究・調査報告書

報告書番号	担当
274	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
<p>Is commercial alcohol availability related to adolescent alcohol sources and alcohol use? Findings from a multi-level study.</p> <p>一般市場でのアルコールの入手しやすさが青年期のアルコール入手経路と飲酒に関連しているか—種々の観点からの検討—</p>	
執筆者	
Paschall MJ, Grube JW, Black C, Ringwalt CL.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
J Adolesc Health. 2007 Aug;41(2):168-74.	
キーワード	
市場でアルコールを入手できること、アルコールの入手源、飲酒、未成年者	
要旨	
<p>目的：</p> <p>アルコールの小売は許可された者だけが販売できるシステムになっている。このシステムのもとで、未成年者へのアルコール販売についての法律をどの程度遵守できるのかということが、1) どこで誰からアルコールを手に入れたかという入手源、2) アルコールを入手することについてどの程度容易だと未成年者が思っているか、3) また未成年者がどの程度飲酒するのかといったことと関連があるかについて検討する。</p> <p>方法：</p> <p>2005年アルコール売買に関する調査がオレゴン州の43校区内にある403のアルコール販売許可を得ている小売店で実施された。また調査はこの地域における11学年3332人の学生をも対象に行われた。多重ロジスティック回帰分析を用い、学生がどこで誰からアルコールを手に入れたか、アルコールを入手することがどの程度容易であると感じているか、過去30日間に飲酒したか、多量に飲酒するかといった事柄と校区におけるアルコール販売率との関連を調べた。</p> <p>結果：</p> <p>校区ごとのアルコール販売率は、どこで学生がアルコールを入手したか、アルコールを手に入れることが容易であるとどの位感じているかということと正の関連があり、誰からアルコールを手に入れるか、どの程度飲酒するかといったことは直接関連はみられなかった。誰から入手したかがどの程度飲酒するかということと比較的強い関連があることがわかった。これらの分析結果からアルコール販売率と、未成年者がどの程度飲酒するかということの間には直接的ではないが関連があることが示唆された。</p> <p>結論：</p> <p>アルコールの小売が許可性である状況では、どこで未成年者がアルコールを手に入れるか、未成年者がアルコールの入手をどの程度容易だと感じているかといったことを通じて、未成年者へのアルコール販売に関する法律をどの程度遵守するかが、間接的に未成年者の飲酒に影響を与えている可能性がある。しかしながら、どこで未成年者がアルコールを手に入れたか、彼らがアルコールを入手することに対してどの程度容易だと認識しているかといったことよりも、誰からアルコールを手に入れたかということが未成年者の飲酒と強く関連している。</p>	